

モデル化合物による吸着阻害物質評価技術

技 - MZ2 - 1

技術内容

熱分解LPG、LGの硫黄分吸着脱硫において、留分を構成する各種化合物の各種吸着剤への吸着挙動をモデル化合物を用いて把握し、吸着脱硫における阻害物質を評価する技術

特徴

熱分解LPG、LG中に含まれる様々な化合物(オレフィン、ジエン、各種極性物質等)について、吸着脱硫に及ぼす影響を個々に知ることができる。

用途(応用範囲)

吸着剤のタイプや構造、また、吸着除去される含硫黄化合物や吸着阻害をされると考えられる各種物質の化学種や物質構造が既知であれば、どのような吸着剤と硫黄化合物との組合せでも、本技術の適用が可能である。

関連特許

名称: 低硫黄軽質炭化水素油の製造方法
 番号: 特願2005-161744
 特開2006-335865
 特願2005-161745
 特開2006-335866

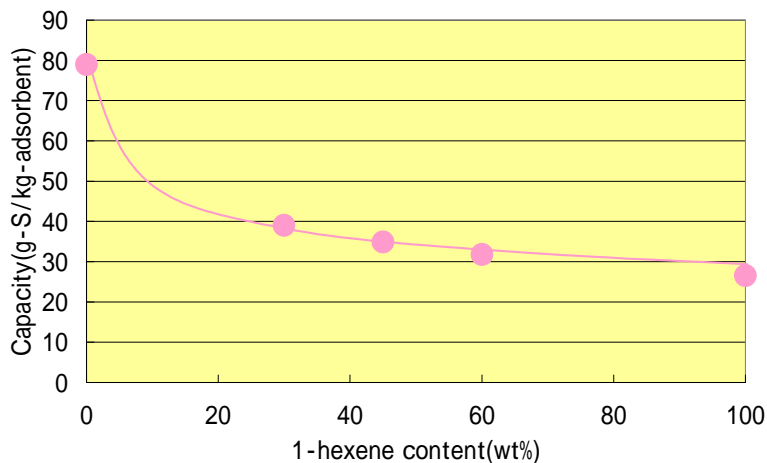


図1 オレフィン量が硫黄吸着容量におよぼす影響
 硫黄化合物としてジメチルジスルフィドを使用

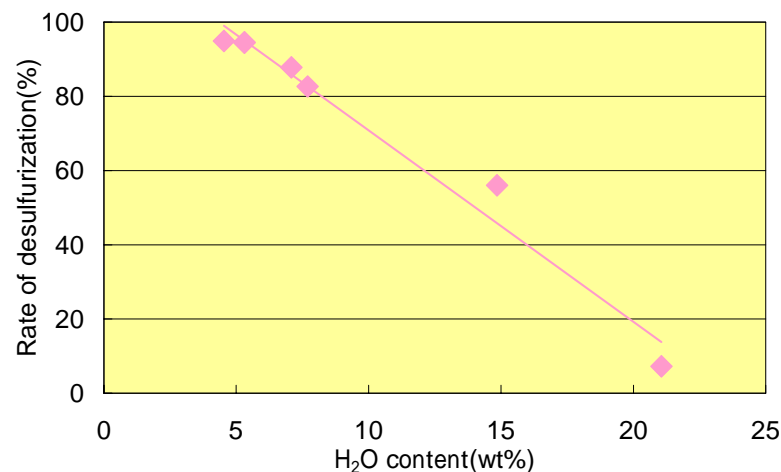


図2 水分量が脱硫率におよぼす影響
 硫黄化合物としてジメチルジスルフィドを使用